

令和5年度 業績優秀者返還免除申請書

令和 年 月 日

独立行政法人日本学生支援機構理事長殿

- 本申請書記載内容に相違ありません。
特に優れた業績による返還免除を申請します。
日本学生支援機構が、免除認定者の職業や業績等を含めた特に優れた業績による返還免除に関する調査を行うときには、その調査への協力を求められることを承知しています。
(令和5年度以降に博士(後期)課程及び博士医・歯・薬・獣医学課程において第一種奨学生として採用された者のみ)
国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)が実施する「科学技術イノベーション創出に向けた大学フェロシップ創設事業」又は「次世代研究者挑戦的研究プログラム」の支援を受けた場合は、免除が取り消されることを承知しています。

フリガナ
氏名

Form with fields: 大学院名 (京都教育大学大学院), 課程 (修士(博士前期)課程), 専攻 (連合教職実践研究科・教職実践専攻), 学籍番号, 奨学生番号 (606), 生年月日 (昭和平成).

大学院における研究課題等

Table with 2 columns: 概要 (empty), 研究課題等 (empty).

業績の種類

- (1) 業績を証明する資料(申請者の氏名が確認できるもの)を添付し、申請書に書かれた資料番号を付記してください。
(2) 必要に応じて行を挿入してください。行の挿入により、表の形式及び記入項目に変更がなければ、頁数が3頁以上になっても構いません。
(3) 返還免除内定者の方は「1. 学位論文その他の研究論文」を記載してください。

Main table with columns: 業績の種類, 資料番号, 学校確認欄. Rows include: 学位論文 (1-1), 研究論文 (1-2, 1-3), 学会での発表 (1-3), 論文及び学会での発表により受賞または表彰による機構以外の給付奨学金の獲得や外部資金の獲得, 日本学術振興会の特別研究員に採用、または民間財団等が公募している競争的資金を獲得することにより奨学金を辞退.

業績の種類			資料番号	学校 確認欄
2	大学院設置基準第16条に定める特定の課題についての研究の成果	※大学院設置基準第16条は修士課程の修了要件に関する規定であるため、本項目に博士(後期)課程は該当しません。		
3	大学院設置基準第16条の2に定める試験及び審査の結果	※大学院設置基準第16条の2は博士課程の前期の課程の修了要件に関する規定であるため、本項目に博士(後期)課程は該当しません。		
4	(専攻分野に関連した)著書、データベースその他の著作物(1及び2に掲げるものを除く)			
5	発明	※特許登録済、特許出願中、実用新案登録済及び実用新案出願中の区分を記載し、発明(考案)者名、出願番号、出願日、特許番号、実用新案番号、登録日等を記載してください。団体での出願の場合は、申請者名が確認できるものがが必要です。		
6	授業科目の成績	成績証明書	6-1	
7	研究又は教育に係る補助業務の実績	※複数の期間にわたって同様の補助業務を行っているが、複数の期間でも一期間でもひとつの業績として評価される場合は、一期間の業績のみにしてください。複数の期間の記載及び資料の添付は不要です。 ●●市立●●●●学校で非常勤講師として勤務した。(資料7-1:労働条件通知書)	7-1	
8	(専攻分野に関連した)音楽、演劇、美術その他芸術の発表会における成績	※発表会等の名称、開催日、順位(●●人中●位)などを記載してください。 ※発表会等がどのような内容であるか、国際的レベル・国内的レベルであるか、どのような人を対象とするか、などについて記載してください。		
9	(専攻分野に関連した)スポーツの競技会における成績	※競技会等の名称、開催日、順位(●●人中●位)などを記載してください。 ※競技会等がどのような内容であるか、国際的レベル・国内的レベルであるか、どのような人を対象とするか、などについて記載してください。		
10	(専攻分野に関連した)ボランティア活動その他の社会貢献活動の実績(公益の増進に寄与した研究業績)	●●●●●●●●においてボランティア活動に取り組んだ。 (資料10-1:ボランティア活動証明書)	10-1 (順位1)	
		●●●●●●●●を対象とする●●●●●●●●の活動に取り組んだ。 (資料10-2:活動報告書)	10-2 (順位2)	